

学年末試験に全エネルギーの集中を
—全教科 100 点満点を目指そう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q : 1月中旬から2月中旬までの1か月間は、どのような学習をしたらよいのでしょうか。

A : (林明夫 : 以下省略)

(1) 2月中旬から3月初旬にかけては、日本国中のすべての小学校・中学校・高校で学年末試験が行われます。また、皆様が将来進学する日本国中のすべての大学・短期大学・専門学校・大学院では、1月中旬から2月にかけて学年末試験や後期最終試験が行われます。

(2) そこで、学校で学ぶ皆様が1月中旬から2月中旬までの1か月間に行うべきこととして私がお勧めするのは、学年末試験・後期最終試験に全エネルギーを集中することです。全エネルギーを集中して1か月余り学習し、全教科100点満点を目指すこと。100点を取り、この学年の学校成績を5段階評価でオール5にすることです。

Q : なぜですか。学年末試験はそこまでの価値があるのですか。時間の無駄であり、人生において学年末試験など何の意味もないように思えますが。

A : (1) 学年末試験で全教科100点満点を目指し、これから1か月間かけて全エネルギーを集中して学習することは、この学年の学習内容をもう一回スミからスミまで学習し直すことを意味します。「学習」し直すとは、学習内容をスミからスミまでああこのことはこういうことなのかと正確に「理解」した上で、「音読練習」や「書き取り練習」、「計算・問題練習」などの「定着のための3大練習」を繰り返し行い、スミからスミまで正確に身に着けることです。

(2) 今の学年の内容をスミからスミまで正確に「理解」し、「理解」した内容を「定着のための3大練習」でスミからスミまで正確に「身に着け」て学年末試験で100点を取るまでになる、つまり、自分のものにするとうなるか。

(3) 学校の学年末評価が上昇しますので、上級学校への内申点は上がり、入試に有利になります。推薦入試では学年末の成績が重視されますので、学年末試験は入試そのものと私は考えます。また、大学などへ進学する場合は、奨学金の給付や貸与が受けやすくなります。学年末試験の成績は学年末の全教科の評価に直結し、大学進学後の奨学金に大きく影響します。

(4) 4月からの新学年で学習する新しい内容は、前学年の内容がすべて「理解」され、「定着」されていると、とても「理解」しやすいと考えます。新しい何かを100%完全に「理解」するには、それまでに学習したことを100%完全に「理解」し、「定着」させ、自分のものとして正確に身に着けているとよいからです。学年末試験で100点を取ることは、4月からの新年度の学習のためにも役立ちます。

Q : ここまではわかりました。試験は何のためにあるのですか。お答えください。

A : (1) 今までに学習したことをスミからスミまで正確に「理解」し、「理解」したことを正確に身に着けて試験で 100 点や合格点を取ることは、学力向上に直結します。

(2) 学年末試験で 100 点満点を目指して「学習」することは、今の学年の内容をスミからスミまで正確に「理解」し、「定着」させ、自分のものとして「身に着ける」ことを意味します。

(3) このようにして学力が身に着くとどうなるか。「人生における選択肢(せんたくし)」が増えます。「多様(たよう)な選択肢のある人生」を歩むチャンス・機会を持つことができます。

(4) 今学校で学習しているすべての教科の内容は、次の学年だけでなく、上級学校ですべて役立ちます。大学・短期大学・専門学校・大学院は、小学校・中学校・高校の学習の上に成り立っています。ですから、中学校や高校での学習をしっかりと行っていないと、大学での学習は成り立ちません。

(5) 学校での学習は、社会に出てからのすべての仕事や社会的活動に役立ちます。豊かな人生を送るため、よく生きるために役立ちます。そうであるからこそ、国民の貴重な税金が皆様の教育のために用いられているのです。

(6) 学校できちんと学習した人が増えれば増えるほど、社会は正常に機能し、社会の持続可能性は増加。よい社会、よい日本、よい世界ができます。だからこそ、皆様の住む地方自治体も、我々の祖国日本も、そして国連など国際社会も「学校教育」の大切さを絶えず議論して、よりよき教育を目指しているのです。おわかりでしょうか。

Q : では、どのようにして学年末試験で100点満点を目指したらよいのでしょうか。

A : (1) 学校の教科書、授業中のノート、問題集、教材をスミからスミまで正確に「理解」することが第 1。わからない語句があったら「辞書」や科目別の「用語集」、学年別の「参考書」で調べ、調べたことは「ノート」に書き写すこと。

(2) よく「理解」できた内容は、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」の「定着のための 3 大練習」を繰り返し、スミからスミまで正確に「定着」させる、自分のものとして身に着けることが第 2。「練習は不可能を可能にする」と私は確信します。

(3) 最後に一言。この学習の仕方でやれば誰でも 100 点が取れます。ただし、コツコツと行う学習の方法ですので、時間だけはかかります。学年末試験で 100 点を取る意味がわかった人は、時間を十分に取って学習に励んでくださいね。

(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)

— 2014 年 1 月 17 日記 —